

New Adventures

〔発行〕駿河台大学 グローバル教育センター
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 Tel (042) 972-1218

INDEX

- 2** 長期留学制度の特徴
- 3** 長期留学提携校紹介
- 8** 短期留学(海外語学演習)紹介 ~海外語学演習について~
- 9** 留学するために
- 10** 2017年度交換・派遣留学応募資格
- 12** 留学へのスケジュール
4/14(木)第1回長期留学説明会&春期国際交流パーティ開催!
- 14** 留学体験 ~2015年度交換・派遣留学生帰国報告~
留学して経験したこと、得たもの…2015年度交換・派遣留学生の留学体験記
- 20** Challengers ~2016年度春、新たな冒険者たち~
春から留学を開始する2016年度交換・派遣留学生が意気込みを語る!
- 24** 私たちの日本留学記 ~2015年度ドイツ・交換留学生帰国報告~
2015年度ドイツ・ミュンヘン大学からの交換留学生の留学感想



長期留学制度の特徴

駿河台大学では、長期留学提携校として、世界8カ国10大学と交換・派遣留学協定を結んでいます

提携大学との留学の形態は、「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、留学期間は半年または1年です。駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、①学業、②費用、③留学手続き・生活の3つの面からサポートします。



Support

1

学業のサポート

➡➡ 4年間で卒業が可能

留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業が可能**です。

留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者については、事前に教職・資格課程担当者に相談をしてください。)

Support

2

費用のサポート

➡➡ 留学先の授業料を大学がサポート
さらに、往復の航空券・奨学金を支給

留学先の授業料を大学がサポートします

海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払うだけで**、留学先大学の学費を駿河台大学が負担します。

※パスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。

往復の航空券を支給します

渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20~60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。

奨学金10万円を給付します

「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

Support

3

手続き・生活のサポート

➡➡ 留学決定後から留学終了まで
グローバル教育センター教員がサポート

留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター教員がサポートします。

留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。

留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mailを利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。

留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

長期留学提携校

駿河台大学では世界8カ国10大学と交換・派遣留学協定を結んでいます。

※世界地図はP2を参照してください。

注)各国情報は日本外務省「各国・地域情勢」サイト、各国の在日大使館公式サイト、各国国統計局サイト、Google マップ、ロイター・ジャパン外国為替、地球の歩き方、世界気象機関サイト、世界紙幣図鑑、世界コイン図鑑を参照しました。

英語圏



英国

UNITED KINGDOM OF GREAT BRITAIN AND NORTHERN IRELAND

面積: 24.3万平方キロメートル (日本の約3分の2)

人口: 6,318万人 (2011年)

言語: 英語 (ウェールズ語、ゲール語など使用地域あり)

宗教: 英国国教会、カトリックなど

民族: イングランド人、スコットランド人が91%を占める。アフリカ、インド、中国からの移民も多い。

首都: ロンドン

(東京-ロンドン間約9,570km、飛行機は直行便で約12時間)

時差: -9時間。サマータイムあり。

気温と降水量

首都: ロンドン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	7.2	7.6	10.3	13	17	20.3	22.3	21.9	19.1	15.2	10.4	8.2
平均最低気温 (°C)	2.4	2.5	3.8	5.6	8.7	11.6	13.7	13.4	11.4	8.9	5.1	3.4
降水量 (mm)	53	36	48	47	51	50	48	54	53	57	57	57

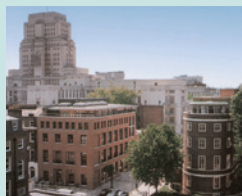
通貨: ポンド (£) 補助単位はペンス (p) ※1ポンド=100ペンス

紙幣	5ポンド、10ポンド、20ポンド、50ポンド
硬貨	1ペンス、2ペンス、5ペンス、10ペンス、20ペンス、50ペンス、1ポンド、2ポンド

レート: £1 = 158円 (2016年2月23日現在)

送実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バーミンガム大学	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
エセックス大学	0	1	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7



ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

派遣留学 英語圏



ロンドン

Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る



基礎データ	創設: 1916年(ロンドン大学は1826年) 学部: 16 Departments (アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数: 約2,000人
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	English Language and Academic Studies 1年間で構成されたコースで、春学期、秋学期、冬学期の3つの学期で学ぶ。 春学期: Preliminary Term (1英語ユニット-英語のみ週18時間)で英語を集中的に学ぶ。 秋学期、冬学期: Year Abroad / Professionals / Pre-foundation (1英語ユニット+1アカデミックサブジェクトユニット+1マイナーユニット、あるいは1英語ユニット+2アカデミックサブジェクトユニット)で、英語の勉強と学科目の勉強を組み合わせて学ぶ。 ※英語ユニットは4つのレベル、Pre-intermediate Level、Intermediate Level、Upper-intermediate Level、Advanced Levelに分かれている。 ※アカデミックサブジェクトユニットは、Social Sciences (社会科学)、Humanities (人文科学)、International Business Studies (国際ビジネス研究)の3つの分野に分かれて、それぞれの分野で専門科目を学ぶ。 ※マイナーユニットは、本学でいえば副専攻にあたるもので、IELTS Examination Preparation、English Language Skills Practice、Introduction to Media Studies、Introduction to Artなどがある。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合にのみ利用可能。 大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには賄い付きもあり。 ●SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし): £119.56/週(2011年度) ●民間の学生用アパートの場合(食事なし): £140~£230/週(2011年度)
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月~翌年3月



バーミンガム大学

University of Birmingham

派遣留学 英語圏



ウェスト・ミッドランド州バーミンガム

Edgbaston, Birmingham B15 2TT, UK



英国第二の都市にあり、英国をリードする12大学のうちの1つに数えられる名門大学。Japan Centreを持ち、日本に関する研究も積極的に進めている。



基礎データ	創設: 1900年 学部: 5群に分かれた28 Schools Arts and Law / Engineering and Physical Sciences / Life and Environmental Sciences / Medical and Dental Sciences / Social Sciences 学生数: 約16,700人
環境	緑豊かなキャンパスにレンガ造りの建物が並び、英国らしい伝統の重みを感じることができる。コンピューター自習室などの設備も充実。バーミンガムの中心から約3マイル(約4.8km)の距離にあり、West GateすぐそばのUniversity Stationから2駅でバーミンガム(Birmingham New Street)に到着。バーミンガムからロンドンまでは列車を用いて1時間40分前後。ロンドンのような国際都市では味わえない、「英国」の都市の生活が経験できる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Birmingham Study Abroad Programme (with English) 日本人のために特に用意されているプログラム。主に3つに分けられる。 ① Part 1 (4月~6月)他の非英語圏の学生も含む少人数クラスでの英語(General English)およびコミュニケーション・スキルを学ぶ。 ② Part 2 (7月~9月)正規の授業の履修の準備として英語(Pre-sessional English)。ノートテイキングやレポートの書き方も学ぶ。Lectures, Seminars, Cultural visitsも含まれる。 ③ Part 3 (10月~12月)、Part 4 (1月~3月)正規の授業、英語の授業の履修も可。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	メイン・キャンパスから徒歩5~8分程度の学生寮(Jarrett Hall等)が提供される。 ●Jarrett Hallの場合: £4,831~£6,008/年(2010年度調べ)
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)
派遣期間	4月~翌年3月



エセックス大学



University of Essex

派遣留学 英語圏



エセックス州コルチェスター
Wivenhoe Park, Colchester CO4 3SQ, UK

教育方法、研究水準どちらも英国トップ10に入る名門大学。大学所在地のコルチェスターは、英国の記録上最も古い街で、1世紀までさかのぼる歴史ある街でもある。



基礎データ	創設：1964年 学部：23 Departments and School 学生数：約12,000人
環境	自然に恵まれた環境の中にキャンパスがあり、モダンな建物によって構成。ロンドンから列車で東に約50分のコルチェスター郊外にあり、首都圏からの距離や学生数など駿河台大学と環境的によく似ている。近郊には、1世紀ごろの遺跡が残る。アート・ギャラリーがある他、クラシック音楽を含めた演奏活動が盛んで、容易に芸術に親しむことができる。大学各所にコンピュータが設置されており、寮でもコンピュータ接続可。E-mailアドレスが各自に与えられ、インターネットも無料で利用できる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Essex English Language Programme (EELP) 英語の文法と語彙、リーディングとライティング、リスニングとスピーキングについて包括的に学ぶ。プレイメントテストにより、4つのレベル別にクラスが編成される。夏学期(4-6月)、夏休み学期(7-9月)、秋学期(10-12月)、春学期(1-3月)があり、それぞれ10週間。学期末の到達度テストの成績によっては上のクラスに上がることできる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内にある学生寮(高層棟・低層棟、計7種類)が提供される。入寮に際し、希望を出すこともできる。 ●食事なし：£2,929～£5,370/39週間(2015～2016年度) ※宿泊する部屋のタイプにより異なる。上記は一人部屋の場合。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～翌年3月



アメリカ合衆国

UNITED STATES OF AMERICA

面積：962.8万平方キロメートル(日本の約25倍)
 人口：3億1694万人(2013年)
 言語：主として英語
 宗教：主にキリスト教
 民族：白人が72.4%、アフリカ系12.6%、アジア系4.8%、アメリカ先住民0.9%など
 首都：ワシントンD.C.
 (東京-ニューヨーク間約10,900km、飛行機で約12.5時間)
 時差：東海岸-14時間、西海岸-17時間。サマータイムあり。

気温と降水量

首都：ワシントンD.C.	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温(°C)	5.7	7.7	13.6	19.3	24.6	29.3	31.4	30.5	26.7	20.6	14.6	8.3
平均最低気温(°C)	-2.9	-1.6	3.2	8	13.7	19.2	21.9	21.1	16.9	10.2	5.1	-0.2
降水量(mm)	69.1	68.8	80.5	68.8	93	85.9	96.5	99.3	84.1	76.7	79.2	79.2

通貨：ドル(\$) 補助単位はセント(c) ※1ドル=100セント

紙幣	1ドル、2ドル、5ドル、10ドル、20ドル、50ドル*、100ドル*
硬貨	1セント(ペニー)、5セント(ニッケル)、10セント(ダイム)、25セント(クォーター)、50セント(ハーフダラー)、1ドル

※他国のドルと区別するため、USドルと表記されることもある。紙幣の*は日常的には使用しない。硬貨の()内は通称名。

レート：US \$1 ≒ 112円 (2016年2月23日現在)

送出国実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校	-	-	-	-	-	-	3	1	2	1	2	4	2	2	2	19



カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校

California State University, East Bay

派遣留学 英語圏



カリフォルニア州ハイワード
25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.

風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のハイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ているAmerican Language Programで集中的に英語を学ぶ。



基礎データ	創設：1957年 学部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院(4課程) 学生数：約15,000人
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するハイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。 留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる“Speaking Partners Program”など、充実した補講制度もある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ① Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は一クラス平均15名の少人数制。 【基礎科目】 午前中は教室で、6つのレベルに分かれているWriting(週6時間)、Listening/Speaking(週4時間)、Reading/Vocabulary(週4時間)をそれぞれ学ぶ。 【選択科目】 午後は、“US American Culture”、“Film and Music”、“California History”、“A Taste of Hospitality”など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 【Bay Area Experience】 担当教員から与えられた課題を5～6人のグループで協力し、Bay Area(サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ② Open University (OU) 通常、正規の学生が履修する一般科目が履修できるようになる。IEPの履修において、アドバイザーの推薦許可が得られるとOUプログラムへ進むことができる。1年の留学期間では、早くも3学期ないし4学期で可能となる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ●3ヶ月(食費込み)：US \$3,821/学期(2016年度春学期)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月



オーストラリア連邦

AUSTRALIA

面積: 769.2万平方キロメートル (日本の約20倍)
 人口: 約2,294万人 (2013年3月。豪州統計局)
 言語: 英語
 宗教: キリスト教 (カトリック、英国国教会) など
 民族: 白人系92%、アジア系7%、先住民アボリジニ (混血含む) ほか1%
 首都: キャンベラ
 (東京-メルボルン間約8,200km、飛行機で約10時間)
 時差: +1時間。サマータイムあり。

気温と降水量

首都: キャンベラ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	27.7	27	24.4	19.8	15.4	12.1	11.2	12.9	16	19.2	22.4	26
平均最低気温 (°C)	13	12.9	10.7	6.6	3.1	0.9	-0.2	1	3.1	6	8.5	11.2
降水量 (mm)	61.5	53.6	52.6	49.5	47.8	39.6	42	47.4	52.8	65.3	64.2	52.5

通貨: ドル (\$) 補助単位はセント (¢) ※1ドル=100セント

紙幣	5ドル、10ドル、20ドル、50ドル、100ドル
硬貨	5セント、10セント、20セント、50セント、1ドル、2ドル

※他国のドルと区別するため、AUドルやAドルなどと表記されることもある。

レート: AU \$1 ≒ 81円 (2015年2月23日現在)

送実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
モナシュ大学	9	12	9	9	15	5	3	5	2	1	2	3	5	4	0	84



モナシュ大学

Monash University

派遣留学 英語圏

ヴィクトリア州メルボルン
900 Dandenong Road, Caulfield East, Victoria 3145, Australia



世界で最も大規模な大学の一つで、世界的な教育水準と研究の実績を積み重ねる名門校。留学中は一般英語コースに参加。ホームステイでの生活が大きな特徴で、その運用・サポート体制は非常に充実。



基礎データ	創設: 1958年 学部: Art, Design and Architecture / Arts / Business and Economics / Education / Engineering / Information Technology / Law / Medicine, Nursing and Health Sciences / Pharmacy and Pharmaceutical Sciences / Scienceの10学部 Victoria College of Pharmacy 学生数: 約65,000人		
環境	シティキャンパスで授業を受け、図書館などはメルボルンの中心から約9キロ離れたコーフィールドキャンパスを利用。日本人を含む専属のスタッフが全面的にサポートしてくれる。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Monash English 5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は一日4時間、週20時間(月～金、8:30～17:15)。内訳は、12時間が一般英語(General English=Core Module)、8時間が選択科目(Specialist Skills Module)。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。各ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。		
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	ホームステイ 3食込み: AU \$ 7,604/半年(2015年度調べ)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	9月～翌年2月

第二外国語圏



ドイツ連邦共和国

FEDERAL REPUBLIC OF GERMANY

面積: 35.7万平方キロメートル (日本とほぼ同じ大きさ)
 人口: 8,033万人 (2011年)
 言語: ドイツ語
 宗教: キリスト教 (カトリック、プロテスタント)、ユダヤ教など
 民族: ゲルマン系を主体とするドイツ民族
 首都: ベルリン
 (日本-ミュンヘン間約9,390km、飛行機は直行便で約12時間)
 時差: -8時間。サマータイムあり

気温と降水量

首都: ベルリン	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	2.9	4.2	8.5	13.2	18.9	21.6	23.7	23.6	18.8	13.4	7.1	4.4
平均最低気温 (°C)	-1.9	-1.5	1.3	4.2	9	12.3	14.3	14.1	10.6	6.4	2.2	-0.4
降水量 (mm)	42.3	33.3	40.5	37.1	53.8	68.7	55.5	58.2	45.1	37.3	43.6	55.3

通貨: ユーロ (€) 補助単位はセント (¢) ※1ユーロ=100セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート: €1 ≒ 123円 (2016年2月23日現在)

送実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
ミュンヘン大学	3	3	3	2	3	4	1	1	3	1	1	1	0	3	1	30



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

交換留学 第二外国語圏

バイエルン州ミュンヘン
Geschwister-Scholl-Platz 1, 80539 München, Deutschland



ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。



基礎データ	創設: 1472年 学部: 20学部(法、経済、経営、芸術、文学など) 学生数: 約55,000人(留学生約5,400人)		
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。国際部のスタッフや教員が単独あるいはグループで各学年のアカデミック・アドバイザーとなり、サポートしてくれます。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	大学の講義等を受講できる。また、大学附属の「外国人のためのドイツ語コース」を受講できる。		
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	学生寮 ●寮費: €260/月(2010年度調べ) ●保険: €78/月(2010年度調べ) その他、必要経費として約€110/学期が必要。(学期=夏・冬の2学期制)(2013年度調べ)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)	派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月



フランス共和国

French Republic

面積: 54.4万平方キロメートル (日本の約 1.5 倍)

人口: 約 6,559 万人 (2013 年、仏国立統計経済研究所)

言語: フランス語が主

宗教: カトリック、イスラム教、プロテスタント、ユダヤ教

民族: ケルト人、ゲルマン系など

首都: パリ

(東京-パリ間約 9,730km、飛行機は直行便で約 12 時間)

時差: -8 時間。サマータイムあり。

気温と降水量

首都: パリ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	6.9	8.2	11.8	14.7	19	21.8	24.4	24.6	20.8	15.8	10.4	7.8
平均最低気温 (°C)	2.5	2.8	5.1	6.8	10.5	13.3	15.5	15.4	12.5	9.2	5.3	3.6
降水量 (mm)	53.7	43.7	48.5	53	65	54.6	63.1	43	54.7	59.7	51.9	58.7

通貨: ユーロ (€) 補助単位はセント (¢) ※1ユーロ= 100 セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート: €1 ≒ 123 円 (2016年2月23日現在)

送出国実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
アンジェ・カトリック大学	-	1	1	2	2	1	3	1	2	0	1	0	0	1	2	17



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

派遣留学 第二外国語圏



アンジェ
3 Place André-Leroy B.P.808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE

10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校 CIDEF (外国人留学生のためのフランス語コース) に在籍する。



基礎データ	創設: 1875年 学部: 神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数: 約11,000人	
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた地方都市アンジェ市にある。世界40~50か国からの留学生を受け入れている。1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より500名以上(うち日本人は60~70名)の留学生が集まっている。学内や女子学生寮にあるパソコンが自由に使用でき、大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。	
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月: 1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を受講。 10月以降: 外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。	
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	●ホームステイ(食費含まず): 平均€280/月(2009年度調べ) ●学生寮(月~金の朝夕付。土・日は自炊可): €514/月(2010年度調べ)	
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間 9月~翌年3月または9月~翌年7月
その他	原則として第二外国語としてフランス語を履修していること。 フランス語の勉強意欲と一定の語学力(=2年次までのフランス語が十分に身につけていること。 選考の行われる時点(12月頃)でフランス語検定4級程度、出発の時点でフランス語検定3級程度の実力が必要	



スペイン王国

KINGDOM OF SPAIN

面積: 50.6万平方キロメートル (日本の約 1.3 倍)

人口: 約 4,727 万人 (2012 年 1 月)

言語: スペイン(カスティール)語(バスク語、カタロニア語、ガリシア語が地方によっては使用されている。)

宗教: カトリックが主

民族: イベリア・ケルト系。カスティール人、ガリシア人、アンダルシア人、カタロニア人、バスク人など。

首都: マドリード

(東京-マドリード間約 1,080km、飛行機で約 15 ~ 18 時間)

時差: -8 時間。サマータイムあり

気温と降水量

首都: マドリード	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	9.7	12	15.7	17.5	21.4	26.9	31.2	30.7	26	19	13.4	10.1
平均最低気温 (°C)	2.6	3.7	5.6	7.2	10.7	15.1	18.4	18.2	15	10.2	6	3.8
降水量 (mm)	37	35	26	47	52	25	15	10	28	49	56	56

通貨: ユーロ (€) 補助単位はセント (¢) ※1ユーロ= 100 セント

紙幣	5ユーロ、10ユーロ、20ユーロ、50ユーロ、100ユーロ、200ユーロ、500ユーロ
硬貨	1セント、2セント、5セント、10セント、20セント、50セント、1ユーロ、2ユーロ

レート: €1 ≒ 123 円 (2016年2月23日現在)

送出国実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
サラマンカ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	1	0	2



サラマンカ大学

Universidad de Salamanca

派遣留学 第二外国語圏



サラマンカ
Patio de las Escuelas, 1, 37008 Salamanca, Spain

スペイン最古の名門大学。本学からの留学生が学ぶインターナショナルコースは、スペイン語教育機関として世界的に有名。



基礎データ	創設: 1218年 学部: スペインの名門国立大学。法学部、経済学部、芸術学部、言語学部、教育学部、心理学部、医学部、生物学部等、10以上の学部をもつ。 学生数: 約30,000人	
環境	キャンパスのあるサラマンカ市は、首都のマドリードから車で2時間半ほどのところにある静かで落ち着いた大学都市で、美しい石造りの建物が古い旧市街は世界文化遺産に指定されている。インターナショナルコースのスタッフや教員がサポートしてくれる。	
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	インターナショナルコースの「スペイン語・文化研修コース」で学ぶ。スペイン語の実力に応じたクラスに配属される。	
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	学生寮 ●1人部屋(3食付): €860/4週間(2012年度調べ)	
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間 4月~9月、4月~翌年3月



中華人民共和国

PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

面積: 約 960 万平方キロメートル (日本の約 25 倍)

人口: 約 13 億人

言語: 中国語 (漢語)

宗教: 仏教、イスラム教、キリスト教など

民族: 漢民族 92%、その他 55 の少数民族

首都: 北京 (東京-北京間約 2,100km、飛行機で約 4 時間)

時差: -1 時間

気温と降水量

首都: 北京	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	1.6	4	11.3	19.9	26.4	30.3	30.8	29.5	25.8	19	10.1	3.3
平均最低気温 (°C)	-9.4	-6.9	-0.6	7.2	13.2	18.2	21.6	20.4	14.2	7.3	-0.4	-6.9
降水量 (mm)	3	6	9	26	29	71	176	182	49	19	6	2

通貨: 人民元 補助単位は角と分 ※1元(塊) = 10角(毛) = 100分

紙幣	1角、2角、5角、1元、2元、5元、10元、20元、50元、100元
硬貨	1分、2分、5分、1角、5角、1元

※口語では元は“塊”、角は“毛”と言う。

レート: 1人民元 ≒ 17円 (2016年2月23日現在)

送出国実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
聊城大学	1	3	3	2	0	2	1	0	0	0	0	4	0	0	1	17




リャオチョン
聊城大学
Liaocheng University

交換留学 第二外国語圏

山東省聊城市
中華人民共和国山東省聊城市文化路 34 号

中国は今後、政治的・経済的に世界を索引する国の一つ。大学は、歴史がある中国・山東省聊城市に位置し、キャンパス内だけで基本的な留学生生活を送ることができる。



基礎データ	創設: 1974年 学部: 25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数: 約33,000人
環境	山東省西部の聊城市は2000年以上の歴史がある文化的な地方都市で治安もよい。大都市には薄れつつある中国らしさ、中国人の生活を知るのに適した環境。 芸術系の音楽や絵画、書道さらに体育系の授業も受講可能で、多彩で豊かな留学生活ができる。 中国語教育センターが設置されており、教員が各学生のアカデミック・アドバイザーとして、留学生をサポートしてくれる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	西キャンパスにある留学生専用の宿舎。2013年落成。 ●バス・トイレ、エアコン。Wi-Fi(別払い)。各フロアにTV室あり。共同キッチン、コイン・ランドリー ●二人部屋を一人で使用する場合は: 4725元/半年(2015年度)
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~7月または4月~翌年3月



大韓民国

Republic of Korea

面積: 約 10.2 万平方キロメートル (日本の約 4分の1)

人口: 約 5000 万人 (2012 年現在)

言語: 韓国語

宗教: 仏教、プロテスタント、カトリックなど

民族: 韓民族

首都: ソウル (東京-ソウル間約 1,160km、飛行機で約 2 時間 30 分)

時差: なし (日本と同じ)

気温と降水量

首都: ソウル	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均最高気温 (°C)	1.6	4.1	10.2	17.6	22.8	26.9	28.8	29.5	25.6	19.7	11.5	4.2
平均最低気温 (°C)	-6.1	-4.1	1.1	7.3	12.6	17.8	21.8	22.1	16.7	9.8	2.9	-3.4
降水量 (mm)	21.6	23.6	45.8	77	102.2	133.3	327.9	348	137.6	49.3	53	24.9

通貨: ウォン (₩)

紙幣	1,000 ウォン、5,000 ウォン、10,000 ウォン、50,000 ウォン
硬貨	1 ウォン、5 ウォン、10 ウォン、50 ウォン、100 ウォン、500 ウォン

※1ウォン、5ウォンはすでに製造中止されている。

レート: ₩1 ≒ 0.09 円 (2016年2月23日現在)

送出国実績人数

大学名	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	計
延世大学	-	-	-	2	0	1	3	1	1	0	1	2	0	0	0	11



ヨンセ
延世大学
Yonsei University

交換留学 第二外国語圏

ソウル
134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea

プロテスタントの宣教師により設立。設立以降、韓国の教育界で中心的な役割を果たしている。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学



基礎データ	創設: 1885年 学部: 4年生総合大学、大学院あり 学生数: 約12,000人
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所に位置。 新村洞周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。 留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。 また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	延世大学の正規の授業に加えて、次の韓国語プログラム(コース)のうちどちらか一つを選ぶ。 ①午後クラス 通常のコース。初心者から上級者まで幅広いレベルのクラスが開設されている。授業期間は延世大学の正規の授業期間と同じ。正規の授業を多く履修したい学生に配慮された時間割となっている。 ②午前クラス 韓国語学堂が独自に行っているコース。初心者から上級者まで幅広いレベルのクラスが開設されている。 定員が設けられており、延世大学の正規の授業期間とは異なる。できるだけ韓国語学習に専念したい学生に配慮された時間割となっている。
宿舎(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のインターナショナル・ハウスなどの学生寮 エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり ●₩420,000 ~ ₩560,000 /月 (2010年度調べ) ※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~7月、9月~12月、3月~12月、9月~翌年7月

海外語学留学演習

短期留学「海外語学演習」は、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。夏休みに3～5週間程度、指定機関が開講する短期語学演習プログラムに参加し、外国語を中心に学びつつ、異文化での生活を体験します。

◆履修登録するだけで留学の道が拓けます！

海外語学演習は、履修登録をすれば参加することができます。また、翌年度以降も履修登録をすれば何度でも参加できます。担当教員が、春学期中に1学期間かけて語学や現地での生活、留学手続きなどの事前指導を行いますので、安心して出発することができます。

◆5万円の奨励金を給付！

演習参加にかかる費用はすべて自己負担となりますが、演習に参加する学生には、ひとり5万円の奨励金を大学から給付しています。

短期留学提携校

英語		カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 / ケント州カンタベリー(英国) コース名：一般英語サマースクール 研修期間：8月(3週間) 費用：450,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初心者から英語を学べる数少ない英国の大学です。
		エセックス大学 / エセックス州コルチェスター(英国) コース名：英語研修プログラム 研修期間：8月中旬より5週間 研修費用：650,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語の初心者から参加が可能なプログラム。チュートリアルなど学生一人一人がきめ細かな指導が受けられるところが魅力。平日においても多様なイベントがあり、勉強だけではなく、現地の大学生との交流や体験も期待できる。
		カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校 / カリフォルニア州ヘイワード(米国) コース名：夏期英語研修(アメリカン・ランゲージ・プログラム(ALP)) 研修時期：8月(5週間) 研修費用：800,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 初級者から上級者までのレベル別クラスで、会話やリスニングなど総合的な英語をアクティブに勉強する。研修期間中は大学の寮に宿泊。週末には、近隣の観光地や博物館などへ小旅行も実施される。
ドイツ語		モナシュ大学 / ヴィクトリア州メルボルン(オーストラリア) コース名：短期英語研修 研修時期：9月(3週間) 研修費用：550,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語によるコミュニケーション能力の養成、オーストラリアの生活と文化の理解、学生や市民との交流を深める。滞在中はホームステイ。
		ウィーン大学 / ウィーン(オーストリア) コース名：国際ドイツ語コース 研修時期：8月(4週間)もしくは9月(3週間) 費用：300,000円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。月～金の午前中に授業。午後は、ウィーン大学主催のドナウの船旅等の企画や、ウィーン大学講師の講義に参加することもできる。
		パリ第4大学ソルボンヌ / パリ(フランス) コース名：フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修時期：8月(4週間) 費用：550,000円程度 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。
フランス語		アンジェ・カトリック大学 / アンジェ(フランス) コース名：夏期講座8月コース 研修時期：8月(4週間) 費用：580,000円程度 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。各クラス10～20名程度、文法、会話、読書、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。
		サラマンカ大学 / カスティーリャ・レオン州サラマンカ(スペイン) コース名：スペイン語・スペイン文化研修コース 研修時期：8月(4週間) 費用：500,000円程度 スペイン有数の国立大学。外国人のためのスペイン語教育で高い評価を得ている。授業レベルは細かく分かれ、初心者でも参加可能。1クラス15名以下。宿泊は設備の整った大学寮(個室、3食付)。週末に実施される大学主催の小旅行に参加して、スペイン各地やポルトガルを訪れることもできる。
スペイン語		北京師範大学 / 北京(中国) コース名：短期語学研修 研修時期：8月上旬より3週間 費用：約200,000円(2012年度3週間(22日間)コース実績)、1人部屋希望の場合別途49,000円必要 語学力によってクラス分けし、1クラス15名まで。補習には担当教員と院生が配置され好評。国際交流センターのスタッフが生活面でサポートしてくれる。
		国立台湾師範大学 / 台北(台湾) コース名：短期語学研修 研修期間：8月上旬より3週間 費用：270,000円程度、1人部屋希望の場合変動あり レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。
中国語		延世(ヨンセ)大学 / ソウル(韓国) コース名：3週間短期課程 研修時期：8月(3週間) 費用：250,000円～300,000円程度 初級から上級までの6段階のクラス編成で基礎的な日常会話や韓国社会について、じっくりときめ細かい指導をしてくれる。初心者でも安心して参加できる。
		

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変動します。

留学するために

応募資格

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する長期留学選考に合格しなければなりません。いきなり長期留学に参加することに不安のある学生は、まずは海外語学演習(短期留学)に参加してみることもお勧めします。

I 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること






II 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います(1年次・2年次・3年次生が応募できます)。
※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。
※ロンドン大学SOAS、バーミンガム大学は、3年次生からの派遣になります。

III 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること。

英語圏への留学

原則的に、以下の基準を満たす必要があります。

大 学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP	iBT		
 ロンドン大学 SOAS	×	×	52	4.5	×
 バーミンガム大学	×	×	61	5.0	×
 エセックス大学	385	430	39	3.0	×
 カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校	385	430	39	×	2級
 モナシュ大学	400	×	×	3.5	×

※2017年度交換・派遣留学生を希望する場合、TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2014年4月以降に受験したものが有効。
※実用英語技能検定は、2013年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。
※TOEFL ITPはLevel 1のスコアに限ります。

第2外国語圏への留学

該当する語学(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)の専任教員からの推薦が必要です。

語学担当 専任教員	 ドイツ語	明石 真和 / 研究室：708E (第二講義棟 8階) 小林 将輝 / 研究室：708D (第二講義棟 8階)
	 フランス語	山下 尚一 / 研究室：708F (第二講義棟 8階)
	 スペイン語	信岡 奈生 / 研究室：709B (第二講義棟 9階)
	 中国語	葉 紅 / 研究室：708H (第二講義棟 8階)
	 韓国語	朴 昌明 / 研究室：1416 (本部管理棟 4階)

IV 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。
今年度の応募条件はP10、11の所属する学部・学年の条件を参照してください。

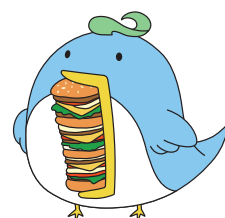
2017年度 交換・派遣留学応募資格

各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、

各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。

今年度の応募条件は次の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。



法学部

1. 原則

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 本学における成績のGPAが2.5以上であること。
- 4) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。

2. 細則

2年次に留学(1年次応募)の場合

- 1年次において40単位以上修得見込みであること。
- 1年次配当科目のうち、次の単位を修得見込みであること。

情報関連科目	2単位
必修第1外国語	4単位
必修第2外国語	4単位
基礎演習	4単位
コース共通基礎科目	8単位

3年次に留学(2年次応募)の場合

- 2年次までに80単位以上修得見込みであること。
- 1、2年次配当科目のうち、次の単位を修得見込みであること。

情報関連科目	2単位
--------	-----

必修第1外国語	6単位
必修第2外国語	4単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
基礎演習	4単位
展開または選択演習	4単位
コース共通基礎科目	8単位

4年次に留学(3年次応募)の場合

- 3年次までに110単位以上修得見込みであること。
- 1～3年次配当科目のうち、次の単位を修得見込みであること。

情報関連科目	2単位
必修第1外国語	6単位
必修第2外国語	4単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリアデザインⅡ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
基礎演習	4単位
展開または選択演習	4単位
発展演習Ⅰ	4単位
コース共通基礎科目	8単位

経済／経済経営学部

1. 原則

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 本学における成績のGPAが平均以上であること。
※GPAが平均未満の者は、FAもしくは旧FAと相談すること。
- 4) 留学の時点で、すでに本学において1年以上修学していること。

2. 細則

2年次に留学(1年次応募)の場合

- 1年次において40単位以上修得見込みであること。
- 1年次必修科目のうち下記の12単位を修得見込みであること。

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
プロゼミナール	4単位

※ただし、上記以外の1年次配当必修科目の14単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータリテラシーⅠ(実習)(1単位)、コンピュータリテラシーⅡ(実習)(1単位)〕についても、修得しておくことが望ましい

3年次に留学(2年次応募)の場合

- 2年次までに80単位以上修得見込みであること。
- 1、2年次必修科目及び専攻基礎科目のうち次の28単位を修得見込みであること。

必修外国語 第1	6単位
必修外国語 第2	6単位
プロゼミナール	4単位
入門演習	4単位
専攻基礎科目	8単位

※1、2年次配当必修科目の18単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータリテラシーⅠ(実習)(1単位)、コンピュータリテラシーⅡ(実習)(1単位)、キャリア発展Ⅰ(2単位)、キャリアデザインⅠ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい

4年次に留学(3年次応募)の場合

- 3年次までに110単位以上修得見込みであること。
- 1～3年次必修科目及びコース科目のうち下記の42単位を修得見込みであること。

必修外国語 第1	6単位	入門演習	4単位
必修外国語 第2	6単位	演習Ⅰ	4単位
キャリア育成科目	6単位	専攻基礎科目	8単位
プロゼミナール	4単位	専攻発展科目	4単位

※1、2、3年次配当必修科目の20単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータリテラシーⅠ(実習)(1単位)、コンピュータリテラシーⅡ(実習)(1単位)、キャリア発展Ⅰ(2単位)、キャリアデザインⅠ(2単位)、キャリアデザインⅡ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい

1. 原則

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 本学における成績が細則に定める基準以上であること。
(GPAが2.5以上であること)
- 4) 留学の時点で、すでに本学において1年以上修学していること。

2. 細則

2年次に留学(1年次応募)の場合

- 1年次終了時点において36単位以上修得見込みであること。
- 1年次配当科目のうち下記の必修科目20単位を修得見込みであること。

基礎教育科目	6単位	オリエンテーションゼミナールⅠ・Ⅱ、メディアと情報資源
情報基礎科目	2単位	情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
教養基礎科目(人間と環境)	2単位	健康・スポーツ実習
第一外国語	4単位	英語Ⅰ・Ⅱ(一般学生)、日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)
第二外国語	4単位	選択した第二外国語Ⅰ・Ⅱ
専攻基礎科目	2単位	情報処理概論

3年次に留学(2年次応募)の場合

- 2年次終了時点までに72単位以上修得見込みであること。
- 1、2年次配当科目(必修科目を含む)計50単位を修得見込みであること。

基礎教育科目	6単位	オリエンテーションゼミナールⅠ・Ⅱ、メディアと情報資源
--------	-----	-----------------------------

情報基礎科目	2単位	情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
教養基礎科目(人間と環境)	2単位	健康・スポーツ実習
第一外国語	4単位	英語Ⅰ・Ⅱ(一般学生)、日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)
第二外国語	4単位	選択した第二外国語Ⅰ・Ⅱ
キャリア支援科目群	4単位	キャリアデザインⅠ、キャリア発展Ⅰ
専攻基礎科目	6単位	情報処理概論
専攻基幹科目(メディア情報と社会)	22単位	実習1単位を含む プレゼミナールⅠ・Ⅱ、メディア情報とキャリア

4年次に留学(3年次応募)の場合

- 3年次終了時点までに108単位以上修得見込みであること。
- 1~3年次配当科目(必修科目を含む)計56単位を修得見込みであること。

基礎教育科目	6単位	オリエンテーションゼミナールⅠ・Ⅱ、メディアと情報資源
情報基礎科目	2単位	情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
教養基礎科目(人間と環境)	2単位	健康・スポーツ実習
第一外国語	4単位	英語Ⅰ・Ⅱ(一般学生)、日本語Ⅰ・Ⅱ(留学生)
第二外国語	4単位	選択した第二外国語Ⅰ・Ⅱ
キャリア支援科目群	6単位	キャリアデザインⅠ・Ⅱ、キャリア発展Ⅰ
専攻基礎科目	6単位	情報処理概論
専攻基幹科目(メディア情報と社会)	22単位	実習1単位を含む プレゼミナールⅠ・Ⅱ、メディア情報とキャリア
専攻発展科目(コース共通科目)	4単位	ゼミナールⅠ・Ⅱ

1. 原則

- 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること。
- 3) 本学における成績が細則に定める基準以上であること。
(GPAが2.5以上であること)
- 4) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。

2. 細則

2年次に留学(1年次応募)の場合(2016生)

- 1年次において34単位以上修得見込であること。
- 以下にあげる1年次必修科目計20単位を修得見込であること。

オリエンテーション科目	8単位
情報教育科目	2単位
健康・スポーツ実習	2単位
必修外国語科目	4単位
選択必修外国語科目	4単位

3年次に留学(2年次応募)の場合(2015生)

- 2年次において72単位以上修得見込であること。
- 以下にあげる1、2年次必修科目32単位以上を修得見込であること。

オリエンテーション科目	8単位
情報教育科目	2単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習	2単位
プレゼミナール	4単位
専攻発展科目(各選択コース)	4単位
必修外国語科目	4単位以上
選択必修外国語科目	4単位以上

4年次に留学(3年次応募)の場合(2014生)

- 3年次において102単位以上修得見込であること。
- 右にあげる1~3年次必修科目46単位以上を修得見込であること。

オリエンテーション科目	8単位
情報教育科目	2単位
キャリアデザインⅠ	2単位
キャリアデザインⅡ	2単位
キャリア発展Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習	2単位
プレゼミナール	4単位
専攻発展科目(各選択コース)	8単位
演習Ⅰ	4単位
必修外国語科目	6単位以上
選択必修外国語科目	6単位以上

1. 原則

- 1) 細則に定める必要単位数を修得見込みであること。
- 2) 細則に定める必修科目の単位を修得見込みであること。
- 3) 本学における成績のGPAが2.0以上であること。
- 4) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること。

2. 細則

2年次に留学(1年次応募)の場合

- 1年次において30単位以上修得見込であること。
- 以下の必修科目を修得見込であること。

科目名
「人間研究の方法」(4単位)、「スタディ・スキルズⅠ・Ⅱ」(各2単位)
「コンピュータ・スキルズⅠ」(1単位)
「健康・スポーツ実習」(2単位)
当該外国語の1年次必修単位 「英語Ⅰ」(2単位)、「選択英語Ⅰ・Ⅱ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、日本語Ⅰ・Ⅱ」(いずれか4単位)
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」のいずれか2単位

3年次に留学(2年次応募)の場合

- 2年次において70単位以上修得見込であること。
- 以下の科目を修得見込であること。

科目名
「人間研究の方法」(4単位)、「スタディ・スキルズⅠ・Ⅱ」(各2単位)

「コンピュータ・スキルズⅠ・Ⅱ」(各1単位)
キャリア支援科目群で、「キャリアデザインⅠ」「キャリア発展Ⅰ」(各2単位)を含む10単位以上
「健康・スポーツ実習」(2単位)
当該外国語の必修単位 「英語Ⅰ・Ⅱ」(4単位) 「選択英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ドイツ語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日本語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」(いずれか6単位)
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)
「心理学統計法Ⅰ」(2単位)

4年次に留学(3年次応募)の場合

- 3年次において100単位以上修得見込であること。
- 以下の科目を修得見込であること。

科目名
「人間研究の方法」(4単位)、「スタディ・スキルズⅠ・Ⅱ・Ⅲ」(計8単位)
「コンピュータ・スキルズⅠ・Ⅱ」(各1単位)
キャリア支援科目群で、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「キャリア発展Ⅰ」(各2単位)を含む10単位以上
「健康・スポーツ実習」(2単位)
必修外国語4単位、選択必修外国語6単位
「心理学概説Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)
「心理学統計法Ⅰ」(2単位)
「演習Ⅱ」を除く専攻科目群の未修得卒業要件単位数が8単位以下であること
「演習Ⅰ」(4単位)

留学へのスケジュール

駿河台大学から、交換・派遣留学提携校の主催する長期留学プログラムに参加するためには、3つのステップをイメージしてください。

①語学力を磨く、②学内の長期留学選考をパスする、③パスポートやビザ申請、留学願書や寮の申請書の提出など、留学手続きを進める。「③留学手続きを進める」は、学内の長期留学選考をパスした後、グローバル教育センター教員がサポートします。まずは、「①語学力」と「②長期留学選考」の準備を進めていきましょう！

4月

6月

8月

10月

選考終了後

出発!

留学先の情報・選考情報を集めよう! 語学のブラッシュアップも忘れずに!

あとで、「この準備が足りなかった」となるとは、選考すら受けられません。そんなことにならないように、しっかり情報収集をして、万全に準備を整えていきましょう! 情報収集の仕方は、「情報提供」の項を、語学力のブラッシュアップのヒントは「学習支援」の項を参考にしてください。自分で動いた先に道が開けるのです! さあ、積極的に情報収集だ!

長期留学選考の日程を確認しよう!

6月に長期留学選考のスケジュールを発表する予定です。選考スケジュールを確認したら、応募資格も確認しましょう。単位、語学力など、クリアできていない場合は、早急に対策していきましょう!

長期留学選考の募集開始!

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。選考の1か月程度前から募集を開始します。指定された期間内に必要書類を受け取り、記入漏れがないように作成して提出してください。選考は書類審査と面接によって行われます。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的をしっかりと話せるように準備しておくことがポイントです。

留学手続き・渡航準備を進めよう!

選考にパスしたら、グローバル教育センター委員の担当者(教員)と一緒に留学手続きを進めていきましょう。留学選考合格後にしなければならない手続きを参考までに紹介します。(詳細は、選考合格後に確認してください)

- 留学願・誓約書の提出 ●健康相談室での面談 ●パスポート取得 ●提携校のアプリケーションフォーム作成・提出 ●ビザ取得 ●学生寮・ホームステイの申込み ●留学生保険の加入 ●国際交流パーティー(壮行会)に参加 ●出発直前ガイダンス(航空券・奨学金受領) ●登録認定等準備 ●荷造り

学習支援

English Chat Room (授業期間中・昼休みに開催)

2016年度は、5月から開催予定!

将来、外国人と英語でベラベラ会話する、一流の国際人になりたい。そんな夢を持つ人は、夢で終わらせないために、English Chat Roomに参加しましょう! 毎年数人の先生がEnglish Chat Roomを担当していますが、先生の個性もそれぞれ、やり方もそれぞれ。毎回参加する学生のメンバーも異なるので、失敗しても大丈夫! 何度でも挑戦しよう!

時間	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
English Chat Room 2016年10月	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00
English Chat Room 2016年11月	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00
English Chat Room 2016年12月	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00	18:00-19:00

◆会場: 外国語教育センター(第二講義棟5階) ◆参加自由!
◆お問い合わせ: 0575-1030-1219 ◆国際交流センター

中国語広場 (週1日・昼休みに開催)

6.7.9.10.11月に開催予定!

中国語広場は、中国語をもっと学びたい、という学生が集まる語学学習の交流コーナーです。上級生や中国留学経験者、中国人留学生が来て、みんなの学びをサポート。留学を目指す人、HSK中国語検定の合格を目指す人、目的は違っても一緒に学ぶと苦労を共有できたり、思わぬ発見があったり。ぜひ、参加してください!



英語講習会 (夏休み・春休み期間に開催)

学生のニーズにこたえて。

夏休みと春休みに、英語をもっと勉強したいという学生のために開催しています。テーマは毎年、学生のニーズにこたえて決定。「英会話力を伸ばしたい」「文法を基礎から学びなおしたい」「ヒアリングが・・・」なんでも要望を伝えてみてください!



グローバル教育センター (第二講義棟5階)

グローバル教育センターのもう一つの顔、それは、語学学習教材や留学関連情報誌の配架など、学習支援ツールの豊富さ。(外国語を楽しむボードゲームもあります!) 気軽にセンターを訪れて、一人、語学の自習に取り組むもよし。先生や留学生、友達と約束して、一緒に語学の勉強や外国語会話を楽しむもよし。みんなで、楽しみながら語学力に磨きをかけていきましょう!



情報提供

グローバル教育センターでは、次のような方法で、留学先の情報や、長期留学選考情報をお知らせしています。早ければ早いほど、充実した準備ができるはず。どんどん準備を進めよう！

長期留学説明会

〈4月から10月まで、毎月1回開催予定〉
4/14 (木) 12:40 ~ 13:20
@グローバル教育センター

開催情報は、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）などでお知らせします。

【内容】はじめは、提携校の紹介やどのように情報収集していくといいのか、といった情報提供から始めます。月を追うごとに、その時々準備しておいてほしいことや選考情報など、大切な情報をお知らせしていきます。いつから参加してもOKですが、留学希望の固まっている学生は、毎月なるべく参加してください！



国際交流パーティー

〈年3回（4月・7月・1月）開催予定〉
4/14 (木) 16:40 ~ 18:00
@学生会館4階

開催情報は、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）などでお知らせします。

【内容】留学先から帰国した駿大生や、駿大にきている留学生との交流を目的としたパーティーです。サンドイッチなどの軽食を食べながら、留学の様子や、文化・生活の違いなど、積極的に情報交換することができます。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観を広げよう！



留学リーフレット〈年3回発行〉

次回は6月発行予定！

留学リーフレットは、グローバル教育センターで配布しています。もちろん無料！

【内容】長期留学選考の情報をメインに、交換・派遣留学協定校の紹介、現在留学中の学生さんの留学生活情報も満載です。留学のイメージをふくらませながら、準備を進めるための道しるべにしてください。



グローバル教育センターホームページ〈随時更新〉

リニューアル・オープン！

これまでのホームページから、留学・国際交流情報が充実！長期留学選考スケジュールの発表や、グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しよう！



掲示板〈随時更新〉

留学・国際交流関連情報の掲示板は学内に2か所！

留学・国際交流関連の掲示板は学内に2か所！グローバル教育センター前（第二講義棟5階）と総合掲示板（学生会館北側屋外通路）。長期留学説明会・選考情報のほか、国際交流イベント情報も随時案内。ふらりと立ち寄ってみてください！



教員（オフィスアワー）〈随時〉

駿大生の強力な味方！

語学担当教員の中には、留学経験のある教員もたくさんいます。語学の相談もよし、留学に関する相談もよし。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた、学生のための時間です。教員ごとに時間帯が異なりますので、まずはポタロウの「シラバス」>「教員から検索」で、先生方のオフィスアワーをチェックしよう！



グローバル教育センター（第二講義棟5階）

留学リーフレットの配布、長期留学説明会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。グローバル教育センターの教員・職員は、みなさんの留学したいという熱意を後押しします！



留学生〈随時〉

最も身近な国際交流！

留学生が感じているカルチャーショックは、日本を知るいい機会。留学生の母国の話を聞くと、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。語学を伸ばす近道は「友達を作ること」という話もあります。日本語を教える代わりに外国語を教えてもらう、そんな関係が築けたら、きっと語学も上達するでしょう！

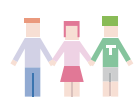




留学体験

2015 年度 交換・派遣留学生帰国報告

2015 年、11 人の学生が長期の留学に挑戦しました。当初の見通しより厳しい現実。それでも、「自分は何のためにここに来たのか」と自らに問いかけ、奮い立たせた留学の前半戦。苦しい時期を乗り越えたとき、見えてきた世界は、これまで経験したことのないような人々の温かさでした。留学先での出会いや体験は、それぞれの価値観を大きく揺さぶり、自分に自信を持たせるものだったようです。彼らの留学報告を、ぜひ堪能してください！





カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校



アメリカでは自己中心的と思われるぐらいがちょうどいい

私は 2015 年にカリフォルニア州立大学イースト・ベイ校に留学しました。自然の豊かな山の上にあるキャンパスで毎晩綺麗な夜景を楽しむことができます。周りの森の緑色は勉強するために落ち着くようなサポートをしています。私は語学力を磨く ALP プログラムに参加し英語を勉強しましたが、一方で自分みたいな色々な国の学生と出会ってコミュニケーションや人脈作りも勉強することができました。

イースト・ベイ校にある図書館は、何よりもいごちのいい場所でした。たくさんの本があつて朝7時から夜10時まで勉強できて、他の学生と一緒に楽しく勉強できる場所でした。アメリカの大学では、ほとんどの科目の課題はグループに与えられて、みんなでみんなの意見を合わせて一緒にやらなければいけません。そこで図書館は学生の課題のためにも、夜遅くまでいられることは学生にとって何より助かりました。

また、イースト・ベイ校は、スポーツにも力を入れています。多くの学生はジムで走ったり、筋トレしたり、後はバスケットボールやサッカーなどで毎日を過ごしています。私もジムで走ったり、サッカーに参加したりすることで現地の学生と友だちになりました。

土日には現地の友達とサンフランシスコに行って、観光しました。イースト・ベイ校からサンフランシスコまで電車で50分で行けるし、車だったら40分ぐらいでサンフランシスコまで行けますので、都会でもない、田舎でもない場所にいるから日常生活に使うものは手に入りやすいです。土日に学校の近くでフリーマーケットがあつて野菜とかも多くて日本にはない果物も安く買えたから果物大好きな私にとっては、かなり最高でした。授業中でも日本の学校であまりない習慣ですが、アメリカの大学にはみんな積極的に誰よりも先に「私がやります」とか、「私の意見は」とか普通に言い出すのが、当たり前でした。日本では自己中心と思われる可能性もあることが、向こうでは逆に参加しない場合は興味ないのかと思われて、授業参加の点数が下げられるので、私も積極的になりました。アメリカでは色々な人々が来ているので、色々な文化に触れる機会もあるので、異文化の理解とコミュニケーション能力をアップできたのは留学のおかげに違いないと思いました。ですから、私が留学に行ったカリフォルニア州立大学イースト・ベイ校はいい場所にあり、スポーツや買い物などにも困らず、周りの友達も温かい人ばかりだったので、満足しており、この留学は成功だと思いました。留学前や留学中にサポートしてくれた先生方にも感謝しております。



2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年 4月～2015年 12月

THET PAING OO

経済経営学科 2015年度卒業生
留学生: ミャンマー

2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年 4月～2016年 3月

石井 萌

心理学科 3年
東京都私立関東国際高等学校出身

授業外でも英語はみるみる上達

私は 2015 年 3 月から 2016 年 3 月までアメリカ、カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校に留学しました。科目は全て英語で、英語の勉強に集中できました。学校はクウォーター制で、1クウォーターは3か月でした。

春学期は正直毎日辛かったです。分からないことだらけで授業についていくのもやっとでした。でも、学期が進むにつれて友達も増え、出かけることも多くなりました。アメリカでの生活に慣れると、毎日毎日が充実していました。

特に、後半の半年間、アメリカ人の生徒たちとシェアハウスしました。もちろん、毎日が英語での会話です。机に向かって勉強するよりも、むしろ友達をたくさん作って常にその子たちと会話をしたりしているほうが身につくスピードが速いことに気づきました。そこで、わたしは毎日誰かと英語を使って授業外で話すこと、メールのやり取りをすること、授業でもメモ等は意識して英語でとったりしていました。今は、これらが自分の中で自然とできるようになっています。その変化に気づいたときは本当にうれしかったです。最初の学期は授業で学んだことが全てでしたが、授業外でも英語はみるみる上達していききました。

アメリカでできた友達は一生関わっていけると思いました。辛かったことも最高に楽しかったことも全て一緒に、母国とは違う国で経験してきたことは忘れられません。今考えると何か国に友達ができたか正直分かりませんが、それぞれ違う文化で違う楽しさがありました。各国にいつでも遊びに行ける理由にもなりました。

私のこの1年間の留学においての一番大きな収穫は、自信です。今まで自分に自信を持つことができなかった私が、この留学のおかげでどこにでも一人で行ける自信、様々なことにチャレンジできる自信、そしてどんな困難にでも前向きに挑戦する自信を持ってました。

すばらしい機会を与えてくださった先生方と、支えてくれた両親と、全てのアメリカ人での出会いに感謝してこれからも頑張っていきたいと思えます。





ミュンヘン大学



私の価値基準を変えた、 日本で出会ったことのないような人たち

私は南ドイツにあるミュンヘン大学へ1年間留学しました。ミュンヘンは街並みがとてもきれいで、人も陽気で温かいです。どこを歩いても可愛らしい家が並んでいて、窓も可愛く飾り付けしてあるので、寒い冬でも心が温まります。

ヨーロッパで生活してみたいという理由で思い立った留学でしたが、この1年でそれ以上の経験をする事ができました。文化の違いや、ドイツ語の中での生活、様々な違いに初めは戸惑い、おどおどしてばかりでした。しかし、今まで出会ったことのないような人たちとの出会い、素敵な街並みの中での生活など、刺激的な環境に身を置いて1年を過ごす事ができました。

面白い人ばかりと出会うことができ、そういった人たちと関わるたびに、今まで自分の中で当たり前だと思っていたことや、否定的に考えていたことが頭からすっぱり抜けていきました。そして、自分なりの価値基準を確立する事ができました。

留学に来る前は何でも人に頼っていたため、私は一人では何もできないのだと思い込んでいました。そして、自分にも自信がありませんでした。右も左もわからないドイツ生活の中で、周りの人に支えてもらいながらも、一年間生活する事ができました。

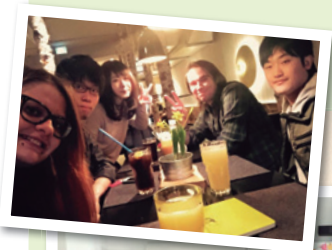
ドイツ語や英語ができる他大学の学生と話していると、何もできない自分が情けなくて、心が折れそうになることもありました。けれども、自分が留学を決意した時の気持ちを思い出して、自分の信じたように1年歩んでいきました。そうしていくうちに、自分の中で自信の持てる部分を見つけ出す事ができました。これらのことは、私にとって大きな自信になりました。そして、大きな財産となりました。これから先、自分で道を選択していく場面はたくさんあると思います。今の私なら、自信を持って選択していくことができます。

留学を通して、カタチに残る変化は得る事ができませんでしたが、心には大きな変化をもたらしました。この1年をステップにして、もっと成長していきたいです。

2015年度 交換留学生
留学期間: 2015年 4月~ 2016年 3月

出口 侑希

心理学科 4年
埼玉県私立埼玉平成高等学校出身



留学から得た大切なこと

私が留学したミュンヘン大学(Ludwig-Maximilians-Universitaet Muenchen ; LMU)は、ドイツ・バイエルン州にある大学で、全18の学部から成る、総合大学です。私を含め、日本人交換留学生は言語学部・日本学科に所属することになりますが、LMUの交換留学プログラムではどの学部の授業にも出席することができます。私は主に心理学部の授業とドイツ語の授業に出席していましたが、その他にも生物学や物理学、哲学などの授業にも参加させていただきました。そのため、普段学ぶことができないような知識や刺激を得ることができたと思います。

留学の目標として私が考えていたことは大きく分けて2つありました。第1に語学力向上です。私は高校生の時から理系だったため、恥ずかしながら英語もドイツ語も得意というわけではありませんでした。しかし外国人とコミュニケーションや、アカデミックな面で深く学ぶためには言語が必要不可欠であり、私自身に必要なスキルだと考えたため実際に現地で学びたいと考えました。第2に、異文化や人に触れることで自身の知見を広め、人間として成長することです。言語や人を正しく理解するためには日本にいただけでは得ることができないこともあると思います。そう考えると私にはまだまだ足りないものがたくさんあるような気がしたのです。

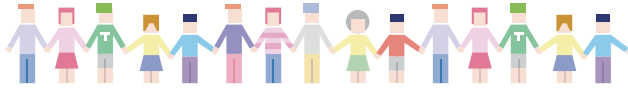
実際に留学をしてみて、得ることができたものはたくさんありました。語学力や知識の点についてはもちろん、ドイツ人や他の国から来た人たち、他の日本人交換留学生と出会うことで得たものはすごく大きかったと思います。ドイツ到着当初は、まだ文化にも慣れず、言語の壁もあったためうまくいかないことがたくさんありました。しかしそんな時、日本学部の学生や本学に留学していた交換留学生の人たちにとっても助けられました。そういった点で本留学から私が得た最も大きなものは、「人との関わりや信頼」だと言えらると思います。

今、留学を考えている人もそうでない人も、勇気をもって一歩踏み出すことで得られるものが必ずあります。大学生生活4年間という短い期間ですがぜひ留学制度を利用して、様々なものに触れてみて欲しいと思います。

2015年度 交換留学生
留学期間: 2015年 4月~ 2016年 3月

珍田 悠輔

心理学科 4年
青森県立青森高等学校出身



ドイツ語とサッカー漬けの毎日でした

私は4月から8月までドイツのミュンヘン大学(LMU)に留学しました。ドイツの名門大学であるLMUは日本の大学では想像もできないほど規模が大きく、歴史を感じさせる外観をしていました。授業内容は正直言ってほとんど何を言っているのかわかりませんでした。しかし、学生の授業中の勉強に対する積極性や姿勢はとても刺激になり、見習わなければいけないと感じさせられました。

授業は主に、心理学部と日本語学部の授業を受けました。その日本語学部では毎月4週目の金曜日に「NOMIKAI」と呼ばれる交流会があります。そこには日本に関係のある人が多くいて、たくさんの友達を作ることができました。

また、サッカーの盛んな国であるドイツということでセミプロチームとアマチュアのチームの2チームに所属して毎週サッカーをしていました。セミプロは競争が激しく、アマチュアはみんなで楽しくやるチームでしたが、どちらもサッカーに一生懸命で、同じサッカーでも日本とは違う事を体験しました。ドイツのサッカー文化を直に感じることができ、これだけでもドイツへ行ってよかったと思っています。

語学に関しては、本当に自分の今までの勉強法では海外では通用しないと痛感させられました。英語なら多少は行けるだろうと思っていましたが、話す言葉と読む言葉では全く違うことを私はわかっているようで全く分かっていませんでした。それに気づいてからは、とにかく恥ずかしがらずに多くの人と積極的に話すことで7、8月には大体相手が何を言いたいのかは分かるようになりまし。また、ミュンヘンに戻ってきたら働かせてくれるといってくれた店のオーナーさんが4店舗もあったのでワーホリで戻ろうかと思っています。

今回の留学で目標としていた、ドイツサッカーを体感する、本場で語学を成長させる、海外で自分の視野を広げるという3つを留学前の想像以上に達成できたと思います。駿河台大学の留学制度は他の大学より優れていると留学中も感じましたし、これから留学するか悩んでいる人は留学に行ってしまった方がいいと思います。



2015年度 交換留学生
留学期間: 2015年4月~2015年9月

結城 大河

心理学科 4年
埼玉県私立城西川越高等学校出身



アンジェ・カトリック大学



目をそらさず向き合うことが大切!

私はアンジェというパリから車で1時間半くらいの小さな町に留学した。楽しみよりも不安の方が勝っていたが、何度か海外旅行した事があったので「言葉がある程度分からなくても大丈夫だろう」と少し安易に考えていた。しかし、留学はそんな甘いものではなかった。それを痛感したのは、最初の一か月だった。なぜなら、アンジェに夜中到着したと思うと簡単に寮の説明をされ、次の日にはクラス分けテストを受け、生活にも慣れないまま留学生活がスタートしたからである。第二外国語としてフランス語を学んだが、話すことも書くことも出来ない私が週5日間、1限から4限までであるフランス語で行われる授業を受けるのはとても大変だった。そのため留学先で友達になった日本人といつも一緒に居るようになり、フランス語から逃げ、お店巡りや散歩など会話は基本的に日本語で話す環境に逃げてしまった。しかし、バカンスも終わり新学期が始まるようになっている頃、私は何をするために留学したのか改めて自分に問い、残りの留学生活を無駄にしないと誓った。

新学期からは時間割も変わり、8時から授業があったり、18時半まで授業があったりと大変なのは変わりなかったが、フランス語を話すようにした。分からない所は授業のうちに解決し、先生や友達からフランス人と交流出来る所はないか、イベントはないか情報収集し、積極的にフランス語を使う場に行った。この事をきっかけに今まで見えなかった事が見えてきた。早い段階で気づくことが出来たから、ハローウィンパーティーやクリスマスパーティー、soireeなど沢山の思い出を作ることが出来た。

私にとってフランスとはかけがえのない存在になっている。Amyという親友も出来たし、家にいつも招待してくれるもう一つの家族も出来た。留学中はパリの襲撃事件など体験した事のない恐怖や悲しみも味わった。一方的な角度からしか物を見ていなかった自分だが、他人事ではないからこそ、目をそらさず向き合いたいと思った。私はフランスから沢山の事を学んだ。

最後に、一日が長かった時期もあったが本当にあつという間だった。帰国したくないと思うくらい充実した時間だった。また家族に親友に寮のみんなに会いにきたい。

2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年9月~2016年3月

甲斐 茜

心理学科 4年
福島県立喜多方高等学校出身



モナシュ大学



「英語でしゃべりたい」に应运てくれる環境

私はモナシュ大学に留学し、とても満足しています。たくさんの留学生と日本ではできないような体験をし、大学生活での良い思い出となりました。また、先生方も優しく、親しみやすさがあり充実した留學生活でした。当たり前ですが、聞くこと、見ること、喋ることすべてが英語という生活は初めての経験であり、とても新鮮でした。

特に心に残っていることはホームステイです。初めはすべてが不安でしたが、英語を喋りたいという気持ちが強く、気づいたら積極的にコミュニケーションをとるようになっていました。英語には全く自信がなく、何を話していいかわかりませんでしたが、その日あった出来事を話していくうちに自然と会話も盛り上がり、自分でも驚くほど内面が変わったと感じています。発音が難しく伝わらなかつたり、へこんだり、後悔を味わうこともたくさんありました。しかし、自分の持っているすべてを出し、コミュニケーションを取れたことに達成感を感じています。自分の弱点でもあったコミュニケーション能力の低さですが、この留学で180度変わったと思います。

また、友達がたくさん出来たことは最大の喜びだと感じています。授業では、英語力の向上とともに、お互いの国について話したり、文化についてたくさん触れたりする課題もあり、徐々にクラスメートとも打ち解けることが出来ました。日本にいただけでは気づかなかったことも、英語を通してたくさん知ることができ、自分自身、とても成長することが出来ました。授業のみならずたくさんの場で学び、知り、感じる事ができたことは本当に良い経験となりました。学校終わりに友達と海に行くことやカフェでゆっくりと話すこと、海を見ながらバーベキューをすることなど、全てが新しくオーストラリアの生活スタイルを味わえたと思います。留学することに対しての不安はたくさんあると思います。しかし、挑戦することで、新しい自分が見つかり、必ずプラスになると思います。そして、選択肢も広がると思います。

2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年 9月～2016年 2月

松土 京平

経済経営学科 4年
山梨県立山梨高等学校出身



どの国の人とも無理なく話せる

私の留学先はオーストラリア・メルボルンにあるモナシュ大学です。大学はメルボルンの町の中心地にあります。大学内はとても清潔で学習環境も整っています。どの教員もユーモアがあり楽しく語学に打ち込むことができます。学生へのサポートも充実していて学習面でのサポートをする教員や生活面でのサポートをしてくれる教員とサポートの対象によってその面の専門の人がサポートをしてくれました。私はこの留学で自分の英語力を試したいという思いで留学を決意しました。私は海外経験があり、そこから数年たって英語力が落ちてないか少し不安がありました。しかし実際に行ってみて苦労したのはほんの数日でした。自分の目的はすぐに達成してしまい、そこから新たに英語力の向上をはかりました。具体的には文法の改善です。私は文や文法の間違いなどを何度も担当の教員に相談し少しは文法の間違いなどを克服することができました。

あと、留学先で感じたことはどの国籍の人とも無理なく話することができることでした。互いに置かれている状況が一緒であるため感情の共有がしやすかったこともあるかもしれません。国籍が違う場合でも一つの言語を利用することで意思の疎通ができることに感動を覚えました。英語ができなくても互いの言いたいことをしっかりと聞いて知ろうという意識が誰とも話しやすくなった点だと思いました。私はそこで相手の話や意思、感情をくみ取りながら話を聞くということは重要であると感じました。

この留学を通じて、自分の今まで持っていた時間という概念をもう一度考えさせられました。留学をする前は半年なんて長いと思っていましたが、それも留学に対して少しの興奮があった最初の数か月だけ。留学が日常になってからは時間が過ぎるのが早かったです。一番そのことを感じたのは出会いの時です。半年いたことで何回もクラス替えがありました。毎回クラスが変わることで出会った仲間やそこで別れた仲間がいました。深く仲よくなった分別れた時の悲しみが大きかったです。

2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年 9月～2016年 2月

後藤 俊

メディア情報学科 4年
カナダ・New Market High School出身



英語、BBQ、ビーチ、サッカー オーストラリアの生活

私は9月から2月までオーストラリアのモナシュ大学に留学してきました。モナシュ大学は、オーストラリアのメルボルンにあり、いくつかのキャンパスがあります。私が行っていたキャンパスは留学生が英語の学習をするためのキャンパスです。キャンパス内は広く、たくさんの教室に分かれており、一クラス15人程度で授業を行う形です。自分のレベルにあった授業を受けることができるのも特徴の一つです。

私はこの授業を5か月間受けましたが、日本の英語の授業と大きく異なる点は、英会話が多いことです。他国の生徒と英語でコミュニケーションを取ることができることは、私にとって大きな経験になりました。また、こういった授業を通して、他国の生徒と仲良くなり、それぞれの国の文化や、言語などについて情報を交換できることもとても貴重な体験になりました。

学校外の活動では、週末にバーベキューをしたり、ビーチに行ったりキャンプに行ったりととても充実した生活を送ることができました。オーストラリアの季節は日本と逆のため留学中は真夏で、またメルボルンには、多くのビーチがあるため、毎週のようにクラスメイトや友達と行っていました。このような経験もオーストラリアでしかできない経験だと思います。また、毎日のように現地の人たちとサッカーをすることができました。現地の人たちとサッカーをすることは、留学前私が掲げていた目標でもあったためとても貴重な経験になりました。

このようにこの留学で私は、多くのものを学ぶことができました。約半年間、英語の学習だけでなく多くの国の人達と友達になることができ、様々な国の文化を学ぶことができました。この体験をこの先の人生に役立てたいと思います。



2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年9月～2016年2月

ながさわ しゅうへい
長澤 秀平

現代文化学科 4年
山梨県私立駿台甲府高等学校出身

2015年度 派遣留学生
留学期間: 2015年9月～2016年2月

うめざわ はなな
梅澤 花菜

心理学科 4年
埼玉県私立聖望学園高等学校出身



何事も体験することが大切

初めての長期留学に加え、英会話もほとんどしたことのない私にとってははじめは苦難の連続でした。自分の意志を相手に伝えることも、相手の英語を聞き取ることも難しく、このままやっていけるのか不安で仕方なかったのを覚えています。しかし、周囲の人々は私ができるようにゆっくりと話してくれたり、逆に私の英語を何度も聞いて理解してくれようとしてくれたりととても親切に接してくれました。1か月もすれば、日常生活で困ることは随分と減り、勉強に集中することが出来ました。

そうなる、留学生活は楽しいものへと一気に変化していきました。日本とは全く異なる文化に触れることの新鮮さやいろいろな人と会話できる楽しさで、毎日があっという間に過ぎていきました。留学中はさまざまな場所を訪れました。まず、日本のスケールの大きさとの違いに驚きました。メルボルン市内ではさまざまな人種の人々が行きかい、路上演奏が絶え間なく流れるその情景はまさに異国であることを感じざるを得ませんでした。そして海沿いに美しい断崖絶壁が続くグレートオーシャンや森の中を疾走する蒸気機関車に乗ったりと数え切れないぐらいの初めての経験をすることが出来ました。

また、大学では他の国の人々と楽しく英語を学ぶことが出来ました。授業の後是一緒にご飯を食べたり、休日を過ごしたりしました。その国の文化に触れる良い機会でもありました。

今回、長期の留学をした中で私は何事も体験することが大切であると改めて感じました。確かに英語をしっかりと学ぶことも大切ですが、自分の目で見て感じ、自分自身がそれをどのように解釈していくかが重要なのではないかと考えました。長期留学は時間に余裕があるときしか出来ません。ぜひ留学や旅行などで海外に行った際は、消極的にならずできる限り自ら進んで参加してみると良いかもしれません。今回の長期留学は私にとって、とても大きなものを得ることが出来た良い経験になりました。今後も今回の留学経験を活かし、自分自身のこれからの糧にしていきたいと思っています。

Challengers

2016年度、新たな冒険者たち



2016年度、7名の学生が長期留学へと羽ばたきます。

夢を実現する者たち。

留学への思い、挑戦したいこと、意気込みなどを寄せてもらいました。



2016年度 エセックス大学派遣留学生
留学期間:2016年4月～2017年3月

菅野 理沙

現代文化学科3年
宮城県仙台二華高等学校出身

目標への第一歩

「英語をペラペラ話している日本人はかっこいい!」という中学生の頃に漠然と思っていたことが年齢を重ねるごとに、外国へ行きたい、将来国際的に活躍できる人になりたいと具体的な目標ができるようになりました。駿河台大学では留学制度が充実しており、私は長期留学に向けて入学当時から準備をしてきました。もちろん、今の生活でも様々なバックグラウンドを持った人と接することで刺激や影響を受けることは多くあります。今度は日本を飛び出し、国も、言葉も、文化も違う人々と接することで自分の視野が大きく広がったり、今後の人生においてターニングポイントとなるような経験ができるのではないかと思ったことが留学を考えるきっかけの一つでもありました。私が今年の4月から通うイギリスのエセックス大学は、学生の約40%が留学生であり130ヶ国以上の国から集まってきています。このような機会はとても貴重であり、この1年間の経験は自分の財産になると確信しています。また、留学において言語の習得は当たり前のことで、私は日本では経験できないことや自分にはない価値観、考え方も多く吸収していきたいです。そして帰国し4年生になる頃には一回り成長した姿で戻ってきたいと思います





2016年度 カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校派遣留学生
留学期間:2016年4月~2017年3月

別府 菜々

法律学科3年
鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校出身

Don't be shy!!

2016年の3月からアメリカ、カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校に1年間留学することが決まりました。

私は幼い頃から英語にとっても関心があり、海外で生活することに憧れを抱いていました。そして、駿河台大学の整った留学制度を知った時、この機会を逃せばこの先留学できるチャンスはほぼないだろうと思い、留学する決意を固めました。

大学卒業後は、警察官として働きたいと考えています。近年、多発している外国人犯罪者による犯罪の捜査では、日本語を理解できない被疑者の取り調べに困難を伴うことが多いと聞きます。そのため、自己の英語力を活かして外国人の被疑者に対し通訳をしたいと考えています。

そのためには、学生のうちに日本国外に出て自分の能力や語学力を試すという経験が不可欠であり、さまざまな価値観や文化を持った人と関わることによって成長し、自信をつけたいと熱望しています。

数回海外旅行に行ったことはありますが、海外で長期生活することは私にとって初めての経験です。そこで、たくさんの不安もありますが、それ以上にどのようなことを学び、得られるのかという期待でいっぱいです。

この貴重な経験が無駄にしない様に、1年間私の周りのたくさんの人達への感謝を忘れず、勉学や友人づくりに励み、日本では出来ない様な体験を積極的にして、帰国する頃にはアメリカに行って成長したねと言われる様に頑張ってきたと考えています。



2016年度 カリフォルニア州立大学イースト・ベイ校派遣留学生
留学期間:2016年4月~2017年3月

たまいのりゆき
玉井 紀行

経済経営学科3年
沖縄県立コザ高等学校出身

留学での目標

私は大学に入学する前から海外への留学に興味を持っていました。自分が育った環境とは別のところで生活するということがとても興味があったからです。具体的にアメリカという国への留学に強く惹かれ始めたのは大学に入ってからです。その目標のために少しずつ情報収集や語学の学習を積み重ねて来ました。

来年度からの1年間の現地での生活は、これまでの私自身の物事に対してのとらえ方や考え方に大きな変化を与えられるような貴重な経験になると思っています。どのような成長をしたいのか、明確な目標と1年後の自分自身のビジョンをしっかりと描いて、それを目標に毎日の生活を送りたいと考えています。貴重な体験をさせていただける分、私なりに努力し有意義な1年にしたいと思います。

また、1年間アメリカで生活するにあたって1番興味があることは、その土地の文化や習慣についてです。近年、宗教の違いだけでもさまざまな問題が生じています。多くの人と対話し、自分との考え方や感じ方の違いについて、日々の生活の中から感じられることを非常に楽しみにしています。

また英語の能力を向上させる上でもいい機会だと思っています。年々訪日外国人の数が増加し外国人と関わる機会もこれからさらに増えていくと思います。この1年で英語の能力を身につけることはこれから働く上で役に立つことだと思っています。

いろんなことにチャレンジし、自分を大きく飛躍させられる留学期間生活にしたいです。





2016年度 ミュンヘン大学交換留学生

留学期間:2016年4月~2017年3月

秋葉 翔太

経済経営学科3年

大智学園高等学校出身

ドイツに向けて

私は2016年3月から1年間ドイツのミュンヘン大学へ留学します。大学に入るまで語学が一番苦手な科目だったので、私が留学にいくとは、中学高校時代の私からは全く想像できませんでした。大学入学時も語学に苦手意識を持っていましたが、ドイツ語を第二外国語に選び、授業を受ける中で、ドイツの文化や生活に対する興味が増し、留学を希望しました。

この1年間の交換留学で、私は勉学や文化を学ぶことだけでなく、日本の文化や現代の日本について様々な国の方々に伝えたいと考えています。なぜなら、私は昨年、オーストリアのウィーンへ1か月間の短期語学研修に参加した際に、外国人と話して、彼らは「日本」と「日本人」のことについて勘違いをしていること等がとても多かったのが強く印象に残っているからです。例えば、ウィーンの学生寮のルームメイトは、日本人は勉強ばかりで、あまり面白くないと思いついて、そうでは私を見て非常に驚いていました。他にも日本人は様々なことにおいて、消極的で、自分の意見を主張しない等とされていて、残念に感じました。このように考えている人と出会った時に、そのイメージを良いイメージに変えられるように、日本の事を正しく伝えたいです。

また、私は将来海外での仕事も考えており、まずは会話からドイツ語を習得し、この一年間を有意義なものにできるよう努力をしたいと思います。



2016年度 アンジェ・カトリック大学交換留学生

留学期間:2016年9月~2017年8月

尾臺 良太

現代文化学科3年

長野県小諸高等学校出身

異文化に触れ、学ぶという事

まず、私が1年間の長期留学を決意した最大の決め手となったものは去年の短期留学でした。大学へ進学後、私は必修第二外国語として「フランス語」を選択しました。そして、その夏は「海外語学演習」という科目を受講し、7月29日~8月30日までの約4週間フランスへ短期留学してきました。

フランスでの滞在先は、パリの南端第14区に位置する国際大学都市「Cité Internationale Universitaire du Paris」でした。そこには各国の会館が軒を連ねており、その中の一角である「Maison du Japon」に宿泊していました。毎朝、徒歩3分の位置にある「Cité Universitaire」という駅から20分ほど電車に乗りソルボンヌ大学のRaspail校舎へ通学し講義を受けていました。

講義は週5の土日休みで午前1時間、午後は希望者のみ2~3時間文明講座を受講しました。後半の10日間は午後には発音矯正の講義が追加されました。殆どフランス語のみで表記も筆記体を使用するため、慣れるまで少々大変でした。ですが、講師の方々が親切に指導して下さり数日で積極的に授業に参加できるようになりました。休日には凱旋門、「エッフェル塔」、「ルーブル美術館」等の観光名所を観光しました。

フランスに実際に行き、驚いたことは多くの人々が「他者と積極的にコミュニケーションを取ろうとすると」や、「1人1人が独自の個性を持ち合わせ、それをお互いに認め合い共存しているところ」です。日本では他人に干渉することは滅多にありません。例えば、コンビニエンスストアで買い物をする際に店員の「いらっしゃいませ」に対し返答する人は極めて稀で返答された店員も困惑してしまいます。ですが、フランスでは返答することが当たり前であり返答をしないと逆に困惑してしまいます。こういった身近な事例から自国と他国との根本的に異なった異文化を学ぶことが出来ます。

この短期留学を通してフランスにますます興味が湧き語学力の向上はもちろんのこと文化についてももっと学びたいと考え今回の長期留学を志願するに至りました。





2016年度 アンジェ・カトリック大学派遣留学生

留学期間:2016年9月~2017年3月

ほんま きよら
本間 聖

現代文化学科3年

東京学館新潟高等学校出身

フランス留学での抱負

私は2016年9月から派遣留学で半年間、フランスのアンジェ・カトリック大学に留学することが決まりました。留学は大学入学前からの夢であり目標にしている、駿河台大学を受験する決め手となりました。留学が決まりとても嬉しく思います。

私がフランスに興味を持ったきっかけは中学生の頃に放送されていた映画の中でパリがロケ地として使われていて、パリの景色に入ってしまう、街並みや雰囲気をとて気に入り、それからパリにいつか行ってみたいと憧れを抱くようになりました。それから、ますますフランスの映画や文学作品を見るようになり、興味が湧いてきました。

大学1年生の頃、フランス語を担当して下さっていた先生が主催するパリツアーに参加して、初めてフランスへ行きました。実際にパリを訪れて建築物や世界遺産を見ることができ、街並みや建築物は想像以上に綺麗でした。他にも台湾や韓国を訪れたことはありましたが、中でもフランスが一番刺激を受けました。

留学するにあたり語学力の向上はもちろん、日本文化とフランス文化の違いを学び、異文化の方々と関わりたいと考えています。日本では経験できないことなどに積極的に取り組み、様々な挑戦をしていきたいと考えています。

最初は言語の壁を大きく感じ、様々な事に苦戦することでしょう。しかし前向きに取り組み、現地の方々とコミュニケーションを取り語学力の向上に向けて励んでいきます。

最後に留学するにあたってサポートして下さった方々、応援してくれた家族や友人に感謝の気持ちでいっぱいです。留学を終えた際に支えてくださった方々に成長した姿を見せられるよう精一杯頑張ってきたと思います。



2016年度 聊城大学校派遣留学生

留学期間:2016年4月~2017年9月

しぶかわ なおや
澁川 直哉

心理学科3年

群馬県立前橋商業高等学校出身

留学に向けて

2016年2月29日から半年間の留学が決まり、とても嬉しく思っています。現在は留学間近になり、期待と不安が混じった複雑な気持ちでいっぱいです。中国留学に興味を持ったきっかけは大学2年の夏休みに台湾師範大学へ短期留学をしたことがきっかけでした。台湾への短期留学は毎日刺激に溢れていて、とても良い経験になりました。学校の内外で様々な出会いがあり、台湾の人とだけでなく、様々な国の人と交流を持ち海外への興味・関心が一気に増えました。また、台湾で中国・台湾の歴史を感じたことが中国への興味関心が向いたきっかけの一つでもあります。

留学中したいことは2つあります。1つ目はもちろん中国語の勉強です。せっかく中国へ留学に行くので活きた中国語を学べるようにしたいと思います。日本にいる時とは違い24時間中国語に触れることになるのでできるだけ早く、耳が慣れるように、様々な情報を聞き取れるようにしたいと思います。そのため座学を基本として、自分から積極的にコミュニケーションを計り読む、書く、聞く、話す全てのレベルアップを目指したいと思います。

2つ目は中国の歴史・文化を知ることです。「中国4000年の歴史」という言葉を小さい頃から耳にしていたのでその歴史・文化を少しでも肌で感じることができるようになりたいです。現在の中国の衣食住をインターネットや本を通じてではなく自分の五感全てを使って感じたいと思います。また、世界遺産をいくつか見に行きたいと思っています。中国はイタリアに次いで世界遺産の数が世界第2位と世界遺産が数多くあるので1つでも多く見に行きたいです。

最後に、留学にあたって、留学を承諾してくれた両親への感謝と同時に様々なサポートをしてくれた先生や国際交流課の事務員さんへの感謝の気持ちを忘れずに留学を精一杯楽しみたいと思います。



私たちの日本留学記

2015年4月から1年間、駿河台大学での留学生生活を過ごした

ドイツ・ミュンヘン大学からの2名の交換留学生から、留学生活についての感想を寄せてもらいました。

ミュンヘン交換留学生

留学期間: 2015年4月～2016年3月

ARAUNER SINA (アラウナ、シーナ)



ミュンヘン交換留学生

留学期間: 2015年4月～2016年3月

WEBER, MIRIAM (ウェーバー、ミリアム)



留学というのは生涯の経験

日本へ来てから11か月になります。この11か月で、大変学びました。もちろん、大学で日本語を勉強しながら日本の生活に慣れました。それだけではなく、人生のための肝心のレッスンも学びました。関門を克服すること。本気で挑戦に直面すること。毎瞬間を最高にすること。怖くても、新しい経験を楽しむこと。

去年の今ごろ、ミュンヘンで留学の準備中でした。留学をするという決定は、良い決定なのかどうか、迷っていました。初めて日本へ来たので、すごく緊張しました。一年間、長い間です。日本に住むことに慣れないならば、本当に困っていると思いました。それでも、ドイツで日本学を勉強していたので、一回も日本へ来ないのは、やっぱりだめだと思って、好機を掴みました。

最初の日から今まで、日本のことが好きになってきました。留学の生活として、学生活動も観光活動も、毎日多くのことを経験できました。日本の伝統的な文化を知ることがよくなりました。歌舞伎、落語、温泉、茶道、浴衣の着付け体験、おせち料理を作ること、色々な経験ができました。自分で日本へ来たならば、これらの経験をしませんでした。飯能と東京の周辺だけではなく、全国にわたって、色々な所を探検できました。沖縄のきれいな海で亀と一緒に泳いだり、大阪で美味しいお好み焼きを食べたり、名古屋の金鯱を賞賛したり、松本城を見たり、札幌の露天風呂できれいな景観を楽しんだりしました。

こんなに素晴らしい思い出を作ることができて、本当に感謝します。それでも、普通の生活もできて、嬉しいです。日本人の友達とカラオケや飲み会をやって、料理を作って、新しい友好が強くなりました。

来月、帰国しなければならぬ、残念です。一年間は全然長くないです。早く過ぎました。将来は自分に何が用意されているか知りませんが、日本に戻ることは決定です。日本の留学は私の人生で最高の経験です。

日本で留学できた、Danke! (ありがとう)

私は一年間日本に留学しました。なぜ日本を選んだかと言うと、理由は簡単です。ドイツで日本学を勉強していて、日本で日本語を勉強したかったからです。ですが、日本語の勉強のためだけではなく、日本の文化も日本の生活も見聞したかったから、日本に来ました。日本は面白いですから、日本にくるのが夢でした。

日本に来て、駿河台大学で勉強することはとてもいい決断でした。もちろん、留学する前、とても緊張して、色々な心配がありました。一人で住むことも初めてでした。しかし、日本に来て、優しい人にたくさん会って、皆に助けられ、問題があった時も、そんなに心配しませんでした。日本文化を勉強することができて、たくさんの面白い体験がありました。例えば相撲を見て、生け花をやってみて、浴衣の着付け体験もしました。花見もしました。それ以外、旅行もできました。名古屋、大坂、京都や広島へ行って、帰る前はまた鹿児島へ行く予定です。

留学することは楽しいことばかりではなかったです。家族と友達に会いたくなって、慣れない食事で、帰りたいと思う事も多いです。しかし、楽しいことの方が多いです。新しい友達がたくさんできて、一緒に遊んで、楽しい思い出がたくさんできました。綺麗な場所もたくさん行きました。色々なことにチャレンジができ、自分自身も強くなったと思います。もちろん、日本語をたくさん勉強して、日本語能力も上がりました。

留学をすることは、面白い体験をして、優しい人にあつて、色々な勉強して、世界のことも、自分のこともちょっと分かりやすくなりました。この一年間の留学について考えると、夢のようです。すごく楽しく、嬉しく、一年間過ごせました。